

記入見本

生活保護●●※1 処分に関する平成25年●月●※2 日付審査請求事件

※1 減額・停止・廃止など処分の内容を書いてください。

※2 審査請求をした日を書いてください。（弁明書や送付書に書いてあります）

審査請求人 ●● ※3 ※3 あなたの名前を書いてください。

処 分 庁 ●● ※4 ※4 福祉事務所名を書いてください。

反論書

平成25年●月●日 ※5

※5 提出する日を書いてください。

●●県知事●● ※6 殿

※6 知事の名前は弁明書の宛名として記載されていますので、それを見てください。

審査請求人 ●● ※7 印

※7 あなたの名前を書いてください。押印も忘れずに。

※ この他、反論書最後の「4 本件における個別事情」はあれば書いてください。なければ「4 本件における個別事情」という文字ごと消しましょう。

弁明書に対する反論

1 生活保護基準のあり方

処分庁の弁明内容は概要、本件処分は厚労省告示に基づき、法8条1項のとおり計算を正確に行っているから適法・適正であるというものである。

しかしそもそも、生活保護制度は憲法25条の要請を受け（法1条）、同制度により保障される生活水準は「健康で文化的な生活水準を維持することができるものでなければならない」（法3条）とされ、しかも法1条、法3条はいずれも「この法律の基本原理であつて、この法律の解釈及び運用は、すべてこの原理に基いてされなければならない」（法5条）とされている。